

# よしながだより

vol.3

犬や猫にも  
大切なこと

## ☆歯をみがきましょう☆

### ブラッシングのステップ



① 口の周辺を触られる事に慣れさせます。慣れてきたら、唇をめくり、歯の状態をチェックしてみましょう。

② 歯みがきペーストの味見をさせます。初めはペーストを手にとり、次に歯ブラシにつけて舐めさせます。  
(なかなか舐めてくれない場合、鼻先や口の周辺、歯茎にペーストを塗ると舐めてくれることがあります。)

③ 前の歯からブラッシングをしてみましょう。慣れてきたら、徐々に歯ブラシを奥の歯へと移動させます。

★ ステップごとに、出来たら必ずほめて、ごほうび(好物)を与えましょう。

★ 嫌がる時に無理にするのは禁物です! 遊びや散歩で気を紛らわしてから、再度チャレンジしてみましょう。

★ ヒト用の歯みがきペーストは、犬や猫が飲み込むと胃に不快感を起こします。必ずペット用のものを使いましょう。

もっと簡単に! おいしく! 歯をキレイにする商品もあります♪

t/d (処方食)



ドライフードですが、粒が大きいのでおやつに最適です!(旧教粒でOK!)

おいしくて大人気☆ 猫用 500g 1430円  
犬用 1kg 2320円

グリーズ(デンタルガム)



消化が良く、栄養バランスにも優れています。噛むことで

ストレス解消にも☆ 1本 200円

2才以上の犬・猫の80%以上が

# 歯周病に!!

## 歯周病とは…?

垂液や食物が歯に蓄積すると、細菌が増殖し歯垢(プラーク)となります。歯垢は放っておくと石灰化し歯石となりますが、歯石を放置すると歯肉に炎症を起こします。(歯肉炎)

そして、炎症の進行とともに歯肉や歯を支えている組織が破壊され、痛みを感じるようになります。(歯周炎)

これら「歯肉炎」と「歯周炎」をまとめて「歯周病」と呼びます。

歯石になる前の歯垢はブラッシングなどで落ちますが、歯石になってしまうと、超音波で削り取らないと落とすことができません。超音波の処置には全身麻酔が必要で。

歯周病を放置すると、口腔内の細菌が血液に混じって全身に回り、肺や心臓・腎臓・肝臓などに重大な病気を引き起こすこともあります。

## こんな症状がみられたら要注意!

- 口がくさい
- よだれが多い
- 歯がぐらぐらしている
- 噛み方・食べ方がいつもとちがう
- 歯茎から出血している
- 黄褐色の歯石がたまっている
- 食べる時に痛がる

ひとつでも当てはまる項目があれば、歯周病の可能性があります。獣医師、スタッフにご相談下さい。